

## 第34期2016-2018年幹事会議事録

### 第 1 回幹事会 議事録

日 時：2016 年 6 月 26 日（日曜日）11：35～12：00

場 所：明治大学駿河台キャンパス研究棟 4 階第 2 会議室

出 席：上原、遠藤、鬼丸、垣田、嵯峨、下平、鈴木、塚原、戸室、久本、平岡、藤原、  
山縣、渡邊

欠 席：阿部（彩）、阿部（誠）、居神、埋橋、榎、熊沢、杉田、相馬、玉井、宮本

#### 1. 幹事会のMLの作成

新たに幹事会が立ち上がるため、至急、MLを作成すること、作成は垣田幹事をお願いすることとした。

#### 2. 幹事会の運営

幹事会の運営を円滑にするため、幹事会の1週間前までに資料をMLで流すこと、議事録原案はMLで流し、幹事会メンバーで確認の上、確定させること、緊急の案件や幹事会での開催を要さないような案件は、MLでの審議もありうることを確認した。

#### 3. 旅費・経費の申請

新任の幹事が多いので、旅費・経費の申請については、関連の諸規程や前例に基づいて処理することを確認した。

#### 4. HP上の会則や規程等の改訂

HP上の会則や規程等に関して、2012年以降、その後の改正が反映されていないので、早期に最新のものに差し替えることとした。

#### 5. 会員向けの一斉メールの使用

垣田幹事より、幹事会や委員会等で会員向けの一斉メールでの配信の希望があれば、申し出てもらいたいとの発言があった。

#### 6. 事務局の負担軽減

事務局の負担軽減のため、飲み物やお菓子の提供は取りやめ、必要に応じて、事務局が事務補助のアルバイトを使用でき、その費用は本部経費から支出できることを確認した。

#### 7. 次回の幹事会

次回の幹事会（第2回）は、7月31日（日）に明治大学駿河台キャンパスにて14時から開催することに決定した。

NL89号

## 8. 2016-2018 年 期 幹 事 会 報 告

### 第 2 回 幹 事 会 議 事 録

日 時：2016 年 7 月 31 日（日曜日）14：00～17：40

場 所：明治大学

駿河台キャンパス研究棟4階第2会議室

出 席：阿部（誠）、居神、榎、遠藤、鬼丸、垣田、熊沢、嵯峨、下平、杉田、鈴木、玉井、塚原、戸室、平岡、藤原、山縣、渡邊

欠 席：阿部（彩）、上原、埋橋、相馬、久本、宮本

#### 1. 2016 年度 予 算 書 の 修 正 と そ の 後 の 対 応 に つ い て

遠藤代表幹事から2016年度予算書に計算の誤りがあったことの報告があり、遠藤代表幹事およびこの予算書を作成した塚原事務局長よりお詫びがなされた。今後の対応として、修正した予算書をニューズレターで報告し、次回の第133回大会（2016年度秋季大

会)の総会で改めて審議にかけることにした。

## 2. 規程と会則の改正について

遠藤代表幹事から役員選挙に関する規程の改正(幹事選挙におけるブロックと定員の修正)と会則の改正(顧問という役員の 신설)およびこれらの改正に向けたスケジュールについての提案がなされ、これについて審議した。改正案については、引き続き審議していくこととした。

## 3. 学会誌編集委員会からの報告について

居神委員長より学会誌の進捗状況の報告があり、第3 査読のあり方、研究ノートの位置づけ、不正や不備防止のための投稿チェックリストの作成などの課題が審議された。これらの課題は、学会誌編集委員会で検討してもらうことにした。

## 4. 重点事業の事業案について

平岡幹事より電子刊行物として研究成果を英文で発信するなどの事業案が示され、これについて審議した。平岡幹事の下で、引き続き検討を続けていくこととした。

## 5. 秋季企画委員会からの報告について

熊沢委員長より第133 回大会に向けた準備の状況が報告され、秋季企画委員会の新たな委員の委嘱も承認された。

## 6. 国際交流委員会からの報告について

鈴木委員長より重慶で開催予定であった第12 回社会政策国際論壇の開催中止、さらに縮小開催などについて、主催者側(中国社会学会社会政策研究専門委員会)からの連絡に混乱があり、本学会から参加予定の3名の会員のうち、2名が参加をキャンセル、1名(沈会員)のみが参加となったことの報告があった。沈会員が主催者側に問題が起きたときはすばやく連絡を入れるように申し入れたが、幹事会でもこの対応を了解した。なお、遠藤代表幹事と他1名の会員が2017年開催の第13回社会政策国際論壇への招待を受けた

が、これを了承し、他1名の人選は国際交流委員会に委ねることにした。

#### 7. 春季企画委員会からの報告について

榎委員長より第134回大会に向けた準備の状況が報告され、春季企画委員会の新たな委員の委嘱も承認された。

#### 8. 新入会員の承認について

4名の会員の入会を承認した。

#### 9. 次回の幹事会

次回の幹事会（第3回）は、10月14日（金）に同志社大学にて開催の予定であることが報告された。

### 第3回幹事会議事録

日時：2016年10月14日（金曜日）14:00～17:30

場所：同志社大学今出川キャンパス良心館 RY421 教室

出席：阿部（誠）、居神、上原、埋橋、榎、遠藤、鬼丸、垣田、熊沢、嵯峨、下平、杉田、鈴木、玉井、塚原、戸室、久本、平岡、藤原、山縣

欠席：阿部（彩）、相馬、宮本、渡邊

#### 1. 会則と選挙規程の改正案について

遠藤代表幹事より会則と選挙規程の改正案の提案があり、改正案について長時間審議した。

#### 2. 秋季大会の実行委員会・企画委員会報告

熊沢幹事より、133回大会のフルペーパーの提出状況についての報告があった。春季大会と秋季大会の運営の調整および文書統一化については、熊沢幹事、榎幹事、鈴木幹事の

3名が対応することとなった。

### 3. 春季大会の実行委員会・企画委員会報告

下平幹事より来年度の春季大会が明星大学にて6月3日と4日に開催される予定であるという報告があった。榎幹事より共通論題のテーマは「福祉の市場化を問う」としたいとの報告があった。共通論題の座長は平岡幹事に加えてもう1名増やすことになり、春季企画委員会から出すことになった。

### 4. 学会誌編集委員会報告

居神幹事より現状および今後のスケジュールについての報告があった。また、研究ノートへの扱い、投稿者チェックリスト、締め切りを守らない人への対処などについての問題提起があり、継続審議となった。8巻2号の執筆者で、完成原稿がとくに遅れ、また校正で多くの赤字入れがあった執筆者に、代表幹事と編集委員長名で注意書を送ることとした。

### 5. 国際交流委員会報告

鈴木幹事より（1）来年6月1日から4日に開催されるLERA年次大会に社会政策学会としてセッション企画を立て、鈴木幹事、今井順会員、山田和代会員を派遣すること、（2）ESPAnetの会員に対して来年の春季大会の発表者を募ること、（3）来年の春季大会時に鈴木幹事が不在となるため、ESPAnetの招待会員への対応は国際交流委員会の他の委員が責任を持って行うこと、の提案があり、了承された。

### 6. 学会賞選考委員会の欠員委員補充

遠藤代表幹事より補充委員として大沢真知子会員、岡本英男会員、森川美絵会員に委嘱したいという提案があり、了承された。

### 7. 第132回大会 大会報告と会計報告

遠藤大会実行委員長（代表幹事）より第132回大会大会報告と会計報告があり、了承された。

#### 8. 臨時総会（明日）の審議事項

遠藤代表幹事より臨時総会では予算の修正案の再審議に加えて、現在幹事会で検討している会則と規定等の改正についての審議状況とスケジュールも報告したいとの提案があり、了承された。

#### 9. 2018 年度の春季大会の開催校

遠藤代表幹事より、禹会員から埼玉大学で開催できるとの通知があったことが報告され、埼玉大学での大会開催を決定した。

#### 10. 重点事業報告

平岡会員より英文のウェブジャーナルを刊行するとした場合の検討事項の紹介があり、継続審議となった。

#### 11. 次回以降の幹事会の日程

第4 回幹事会は2016 年12 月18 日の14 時から明治大学駿河台キャンパスにて、第5 回幹事会は2017 年2 月19 日の14 時から開催される予定であることが決まった。

#### 12. その他

居神幹事より共通論題のペーパー等の印刷費用の見積額（＝支払額）が毎大会上昇しているようであると問題提起がなされ、毎大会の見積額を調査することになった。

#### 13. 入会申込者の審査

8 名の入会を承認した。

NL90 号

9. 2016-2018 年期幹事会報告

## 第4 回幹事会議事録

日時：2016 年12 月18 日(日曜日)14：00～17：50

場所：明治大学駿河台キャンパス研究棟2 階第9 会議室

出席：居神、榎、遠藤、垣田、熊沢、嵯峨、下平、杉田、鈴木、塚原、戸室、平岡、藤原、山縣、渡邊

欠席：阿部（彩）、阿部（誠）、上原、埋橋、鬼丸、相馬、玉井、久本、宮本

### 1. 会則と選挙規程の改正案について

遠藤代表幹事より、前回の幹事会に引き続いて、会則と選挙規程の改正案の提案があり、これについて審議した。この審議を踏まえ、語句や条文の加除修正を行ったうえで、次回の幹事会で改正案を確定し、その改正案を学会のホームページとニューズレターで公開し、会員の意見を募ることとした。

### 2. 秋季大会企画委員会報告

熊沢委員長より、委員の一部交代（伊藤大一会員、金井郁会員、山村りつ会員の追加、吉中季子会員の退任）の報告があり、第135 回大会の日程、共通論題のテーマ(仮)、報告者、コメンテーター、大会に向けたスケジュールが報告・審議され、決定された。報告者の1 名は非会員の浦川邦夫先生（九州大学）に、コメンテーターの1 人は岩田正美会員に依頼することで了承された。

### 3. 学会誌編集委員会報告

居神委員長より、学会誌編集の進捗状況について報告があった。採択率が低下傾向にあるので、研究ノートでの掲載を考えるべきであること、「書評リプライ」を実施予定であること、投稿時の「チェックリスト」添付を義務化したことの報告があった。なお、編集委員会は、投稿者や査読者の個人情報を知りうる立場にあるため、個人情報についての編集委員会の取り扱い規程を作成し、会員へ周知することで了承された。

### 4. 国際交流委員会報告

鈴木委員長より、韓国との研究交流の協定書を現協定の内容のままで更新するが、日本語文について語句訂正を行いたい(韓国語文は不変)との提案と、大会での交流セッションについては、奇数年を日本側の大会で、偶数年を韓国側の大会で開催するように変更したいとの提案があった。前者は了承され、後者については、交流頻度の覚書を作成する方向で韓国側と折衝することで、了承された。2017年春大会の交流セッションの企画申請書は、長澤紀美子会員が提出するように国際交流委員会から長澤会員に伝えることになった。

#### 5. 春季大会の企画委員会・実行委員会報告

榎企画委員会委員長より、第134回大会の共通論題の報告者うち、非会員の渋谷光美先生(羽衣国際大学)が非会員の清水俊朗先生(全国福祉保育労組副委員長)と交代するという報告があり、了承された。大会までのスケジュールも了承された。応募時の英文アブストラクトの提出については、重点事業の動向も踏まえ、春季大会では継続することになった。

下平実行委員会委員長より、進捗状況の報告があり、保育施設の提供については、これまでの大会の方法を参考にすることとなった。

#### 6. 重点事業報告

平岡幹事より、電子版英文誌(年報)の刊行可能性、類似の電子版英文誌の現状と問題、その他の国際的な情報発信に関わる企画や事業の可能性についての詳細な紹介があった。審議の結果、電子版英文誌でなく、年に2回程度で、巻頭エッセイ少なくとも1本と大会報告アブストラクト集からなる電子版の英文ニューズレターを刊行し、これを海外に送付するという方向性が確認され、その他の事業企画も含めて、継続審議となった。

#### 7. 社会政策関連学会協議会報告

藤原幹事より、社会政策関連学会協議会として2017年5月20日(土)に大分市で「地方の魅力を考える」シンポジウムを予定していること、2017年6月24日(土)に明治大学で若手研究者向けの学習会を予定していることが報告された。



## 8. 関西部会の超過支出への補助について

関西部会から事務局への問合せのあった件である。地方部会への補助の上限は年間で5万円と規定されているが、それを超過したため、超過分についての補助について審議した。審議の結果、今回は超過分を補助するが、超過分の金額を来年の補助の上限額から差し引くこと、この措置は前例としないことです承された。

## 9. その他

遠藤代表幹事より、大会参加者および学会入会者の減少についての問題提起があり、原因について議論した。これについてはアンケート調査も実施しており、継続審議となった。

## 10. 入会申込者の審査

5名の入会を承認した。

## 11. 次回の幹事会の日程

第5回幹事会は2017年2月19日(日)の14時から明治大学駿河台キャンパスにて開催される予定であることが決まった。

### 第5回幹事会議事録

日時：2017年2月19日(日曜日)14:00～17:30

場所：明治大学駿河台キャンパス・アカデミーコモン8階 308A教室

出席：阿部(誠)、居神、榎、遠藤、鬼丸、垣田、熊沢、嵯峨、下平、杉田、鈴木、玉井、塚原、戸室、久本、平岡、藤原、山縣、渡邊

欠席：阿部(彩)、上原、埋橋、相馬、宮本

## 1. 会則と選挙規程の改正案および今後の日程について

遠藤代表幹事より、①前回の幹事会での審議を反映した会則と選挙規程の改正案の提案があり、再度これについて審議した。この審議を踏まえ、さらに修正を行ったうえで、改正案が確定し、了承された。②改正案は学会のホームページとニューズレターで公開し、会員の意見を募ることとし、それに向けた今後の日程が提案され、了承された。

## 2. 春季大会企画委員会・実行委員会報告

榎企画委員長より、①社会的排除・包摂部会選出の委員を石井まこと会員としたいとの報告があり、了承された。②春季大会での応募状況が報告され、審議の結果、自由論題のうち、既発表とみなされる応募2件を不採択とした。また、学会発表としての形式に不備がある応募1件も不採択とし、形式を是正のうえ秋季大会への応募を促すこととなった。③共同研究の報告の場合に、大会プログラムに報告者以外の氏名を載せるべきか、自由論題において、1名で複数の報告をしてよいかについての問題提起がなされ、企画委員会にて継続審議し、その結果を幹事会で再審議することとした。④大会スケジュールが提案され、了承された。⑤国際交流分科会のフルペーパーに関する申し合わせ案（以下参照）が提案され、了承された。

### 国際交流分科会のフルペーパーに関する申し合わせ

1. 国際交流セッションにかかるフルペーパー、報告資料等は事前提出を義務づけない（幹事会確認のとおり）。
2. 事前提出のうえ学会サイト上のダウンロードサイトへの掲載を希望する場合は、「国際交流委員長」はフルペーパーの提出予定のあることを事前に「広報委員長」に連絡し、提出時期について広報委員長と調整する。

春季・秋季大会企画委員長

下平実行委員長より、①プログラム作成の日程が提案され、了承された。②宿泊先(京王プラザホテル)の優先予約の提案がなされ、宿泊情報を会員一斉メールで流すことが了承された。③託児所の一時預かりと報告資料のパワーポイントの準備とインターネット環境に

ついでに報告がなされ、大会プログラムに掲載することとなった。

### 3. 秋季大会企画委員会報告

熊沢企画委員長より、①大会までの準備日程が提案され、審議の結果、一部修正のうえ、了承された。②共通論題の座長を田中洋子会員としたいとの提案がなされ、了承された。③聴覚障がい者へのサポートについての提案と問題提起がなされ、登壇者への対応として、渡邊幹事と相談のうえ、ノートテイク等を確認し、その費用は予備費から支出すること、このサポートを各大会で標準化することについては、自治体の支援を得られる可能性も含め、標準化に向けて検討を続けていくこととした。

### 4. 学会誌編集委員会報告

居神委員長より、①学会誌の進捗状況および編集委員会での審議状況が報告され、了承された。②投稿論文に関する情報管理・開示に関する規程（案）が提案され、審議した。この結果を踏まえ、修正したものを幹事会で再審議することとした。

### 5. 国際交流委員会報告

鈴木委員長より、ESPAnet との交流セッション案および韓国との交流セッション案が提案され、いずれも了承された。

### 6. 重点事業報告

平岡幹事より、電子版英文ニューズレターの企画案(発行回数・時期、各号の構成、編集体制、英文作成、公表・普及方法、経費)が提案され、審議した。このような方向性で進めること、レイアウトに配慮した電子版英文ニューズレターの試作品をつくることで了承された。

### 7. J-STAGE 移行への対応について

塚原事務局長より、学会誌の電子ジャーナルのJ-STAGEへ移行の現状についての報告があった。来年度から移行の予定であったが、移行に当たり、説明会への出席および資料提

出が前提となるが、資料の作成作業に多大な労力と時間を要するため、現在の事務体制ですぐに対応できないため、当面、移行を見送ることとなった。

#### 8. 入会申込者の審査

5 名の入会を承認した。

#### 9. 次回の幹事会の日程

次回以降の幹事会は、4 月22 日午後(明治大学)、6 月2日午後(明星大学)、6 月3 日昼食時(明星大学)、6 月4 日昼食時(明星大学)、7 月1 日午後(明治大学)にて開催される予定であることが決まった。

NL91 号

## 5. 2016-2018 年 期 幹 事 会 報 告

### 第 6 回 幹 事 会 議 事 録

日 時：2017 年4 月22 日（土曜日）14：00～15：55

場 所：明治大学

駿河台キャンパス・リバティタワー7 階1072 演習室

出 席：阿部（彩）、阿部（誠）、居神、榎、垣田、熊沢、嵯峨、下平、鈴木、相馬、玉井、塚原、戸室、平岡、渡邊

欠 席：上原、埋橋、遠藤、鬼丸、杉田、久本、藤原、宮本、山縣

遠藤代表幹事が体調不良のために欠席したので、塚原事務局長が議事進行を行うこと、出席した幹事の数と欠席した幹事のうち委任状を提出した幹事の数合計が幹事全体の3分の2 を超えているので、幹事会の議決で反対する幹事がいなければ、幹事会の議決として有効であることを確認したうえで、幹事会が開催された。

## 1. 会則と役員選挙規程の改正案および改正のスケジュールについて

塚原事務局長より、改正案について会員から意見1件があり、その趣旨は、顧問の制度の運用にあたり、条文の規定を遵守した運営を望みたい、とのことであった。条文のとおり運用することを幹事会として確認した。会則の第11条の役員の人数の表記が「人」と「名」が混在しているため、「人」で統一したい、という提案があり、審議の結果、本学会の他の規程に合わせ、「名」で統一表記することで、了承された。

改正のスケジュールは、会則と役員選挙規程の改正案にともなう他の諸規程の改正を含むものであるが、他の諸規程の見直しを行う際も必要最小限度の改正を行うことで、了承された。

## 2. 旅費規程の改正案について

塚原事務局長より、旅費規程において、旅費の支給対象者として、「社会政策関連学会協議会の協議員ないし参与協議員で協議員会に出席した者」および「日本経済学会連合の評議員で評議員会に出席した者」を追加した改正案の説明があり、審議の結果、了承された。ただし、旅費規程や委員会等における運用において、今後の実情に合った見直しを継続して行うこととした。

## 3. 退会者について

塚原事務局長より、滞納会員の退会の提案があり、規程どおり退会とすることで、了承された。

## 4. 秋季大会企画委員会報告

熊沢委員長より、7月2日における委員会の開催も含めた、秋季大会に向けた準備日程の報告があり、了承された。

## 5. 学会誌編集委員会報告

居神委員長より、「投稿論文に関する情報管理・開示に関する規程（案）」の提案があり、了承された。さらに、学会誌査読専門委員としてどのような委員を選ぶべきか、学会

誌に掲載する書評リプライはどのようなものとすべきかについての問題提起がなされ、審議した。これらの課題については、委員会内で審議し、その結果を踏まえ、幹事会で再審議することとした。

#### 6. 春季大会企画・実行委員会報告

榎企画委員会委員長より、春季大会の開催に向けた準備が順調であることの報告があった。

下平実行委員長より、懇親会における有料会員と無料会員に関する質問があり、質疑応答がなされた。

#### 7. 重点事業報告

平岡幹事より、英語版ニューズレターの来年の春の発行に向けて、業者に見積もりを依頼していること、来年度の予算項目として立てたいことの報告があり、了承された。

#### 8. 社会政策関連学会協議会報告

阿部誠幹事より、(1) 5月20日に大分で地方再生のための社会政策関連学会協議会のシンポジウムが開かれること、(2) 6月20日に明治大学で修士論文を作成のための学習会が開かれること、(3) 9月ごろに日本学術会議による包摂的社会政策に関するシンポジウムが開かれることの報告があった。

#### 9. 学会誌のJ-Stage への掲載について

垣田広報委員長より、電子媒体の学会誌のCiNii からJ-Stage への移行に関して、遠藤代表幹事からの依頼に基づき、この担当者を広報委員会で検討したものの、担当可能な会員がいないので、業者への委託を検討したほうがよいのではないかという意見が出された。業者委託の可能性を含めて、継続して検討していくこととした。

#### 10. 会員入会について

7名の会員の入会を了承した。

## 11. 次回以降の幹事会の日程

第7回幹事会は、明星大学にて6月2日の14時から開催予定であることが了承された。

NL92号

## 15. 2016-2018 年 期 幹 事 会 報 告

### 第7回幹事会議事録

日 時：2017年6月2日（金曜日）14：00～17：00

場 所：明星大学日野キャンパス本館7階701B 会議室

出席：阿部（誠）、居神、上原、榎、遠藤、垣田、熊沢、下平、杉田、相馬、玉井、塚原、戸室、久本、平岡、藤原、山縣、廣澤（学会賞選考委員会委員長）

欠席：阿部（彩）、埋橋、鬼丸、嵯峨、鈴木、宮本、渡邊

#### 1. 2016 年度活動方針と2016 年度決算書について

遠藤代表幹事より、2016 年度の活動方針の進捗状況についての報告があり、塚原事務局長より、5 月26 日に行われた武川会員による2016 年度の決算の会計監査において会計処理が適切になされていたという結論を得たとの報告があった。

#### 2. 2017 年度活動方針と2017 年度予算書について

遠藤代表幹事より、総会で提案する2017 年度活動方針についての説明があった。とりわけ、活動方針の1 つとして掲げる実情に合わない諸規程の改正及び大会実行委員会規程の制定に関して、各委員会に素案の策定をお願いし、7 月の幹事会で素案を議論し、今秋もしくは来春の総会にかけたいとの提案があり、了承された。塚原事務局長より、2017 年度予算書について、昨年度からの変更点を中心に説明があり、了承された。

#### 3. 会則、役員選挙規程、旅費規程の改正案について

遠藤代表幹事より、改正案についての再確認の提案があり、この改正案を総会にかけることで了承された。

#### 4. 学会賞選考委員会報告

廣澤委員長より、選考の経緯、受賞者についての報告があり、了承された。

#### 5. 名誉会員の推挙について

遠藤代表幹事より、選考の公平性や会員の確保等の観点から、会員歴30 年以上、満75 歳以上で、現会員であれば、名誉会員としたらどうかという案が出されたが、名誉会員の基準の変更については、時間をかけて議論したほうがよいという意見が出され、今回は従来通りの方法で選出することになった。伊部正之会員、小越洋之助会員、浪江巖会員、松



崎義会員を推挙することです承された。

#### 6. 総会の議事について

遠藤代表幹事より、総会の議事次第の案が提案され、了承された。

#### 7. 選挙管理委員会の委嘱について

遠藤代表幹事より、金鎔基会員、藤原千沙会員、鶴田禎人会員、郭芳会員、松本由美会員に委員を委嘱したいとの提案がなされ、了承された。

#### 8. 電子版英文ニューズレターの準備状況について

平岡幹事より、経費の見積もり、刊行後に発生する業務、創刊号刊行までのスケジュール案が提案され、了承された。電子版英文ニューズレターの正式な名称については、継続審議となった。

#### 9. 電子版学会誌のJ-STAGE への移行の進捗状況について

塚原事務局長より、J-STAGE センターと科学技術振興機構の支援を得て、移行の申請が完了したこと、移行後には、データの掲載作業が発生するため、そのための作業はおそらく業者委託にならざるをえないとの報告があった。

#### 10. 春季大会企画委員会報告

榎委員長より、第134 回大会の準備状況について、および自由論題の座長マニュアルを作成したとの報告があった。

#### 11. 秋季大会企画委員長報告

熊沢委員長より、委員会の今後の予定についての報告があった。

#### 12. 学会誌編集委員会報告

居神委員長より、学会誌の進捗状況、投稿論文の採択状況、学会誌査読専門委員の就任

依頼状況、研究ノート・書評リプライの掲載についての報告があった。研究ノート・書評リプライの掲載については、継続審議となった。

#### 13. 国際交流員会報告

相馬副委員長より、第134回大会においてESPAnet および日韓交流それぞれのセッションが開かれること、日韓の協定書については、更新を行い、来年、韓国側に提出すること、日中交流については、8月19日から20日にかけて、遠藤代表幹事、堅田香緒里会員、李蓮花会員を中国に派遣すること、の報告があり、了承された。

#### 14. 日本経済学会連合報告

玉井幹事より、国際会議派遣等への補助申請を受け付けていること、2017年度版の英文年報の編集委員として福島淑彦会員、執筆委員として吉村臨兵会員が就任しているとの報告があった。

#### 15. 社会政策関連学会協議会報告

阿部誠幹事より、6月24日に明治大学で修士論文を作成のための学習会が開かれるとの報告があった。

#### 16. 部会活動報告

各部会から提出された2016年度の活動報告が回覧され、ニューズレターに掲載されることで、了承された。

#### 17. その他

遠藤代表幹事より、英文ニューズレターに載せる連絡先については、個人でなく、恒常的に使えるメールアドレスにすべきという意見が出され、現在契約しているホームページにメールアドレスがついていないかを調べることとなった。

#### 18. 会員入会について

14名の会員の入会を了承した。

#### 19. 次回以降の幹事会の日程

明星大学大会の昼食時の幹事会は別として、その後の幹事会は、明治大学にて7月1日の14時から、そのつぎの幹事会は、愛知学院大学にて10月27日の14時から、開催予定であることで、了承された。

#### 第8回幹事会議事録

日時：2017年6月4日（日曜日）11：30～12：00

場所：明星大学日野キャンパス28号館501教室

出席：上原、遠藤、久本、平岡

欠席：阿部（彩）、阿部（誠）、居神、埋橋、鬼丸、嵯峨、鈴木、宮本、渡邊、榎、垣田、熊沢、下平、杉田、相馬、玉井、塚原、戸室、藤原、山縣

##### 1. 会員入会について

1名の会員の入会を了承した。

#### 第9回幹事会議事録

日時：2017年7月1日（土曜日）14：00～17：30

場所：明治大学駿河台キャンパス研究棟4階第3会議室

出席：阿部（彩）、阿部（誠）、榎、遠藤、鬼丸、垣田、熊沢、下平、杉田、鈴木、玉井、塚原、戸室、平岡、山縣、渡邊

欠席：居神、上原、埋橋、相馬、久本、藤原、宮本、嵯峨

##### 1. 秋季大会企画委員会・実行委員会報告

玉井実行委員長より第135回（秋季）大会の準備は順調に進んでおり、移動が少なく

すむように会場の設定をコンパクトにするとの報告があった。また、熊沢企画委員長より、清水耕一会員の辞退を受けて、共通論題の報告者を菅沼隆会員へ変更したいこと、共通論題のテーマを「正社員の労働時間、非正社員の労働時間」に変更したいこと、の提案があり、了承された。自由論題応募者に会費未納者がいたが、入会申込中の者を除き、会費納入を前提とした応募を徹底させることを確認した。また、テーマ別分科会の報告者の一人が滞納退会者であったため、対応を審議した。その結果、再入会の申し込み書と、滞納理由書の提出、幹事会ML 上での再入会承認後に請求するところの、滞納分会費と2017年度会費の合計額の納入、を条件として報告を認めることとした。この件を除き、応募のあった自由論題、申請のあった分科会それぞれの論題と報告者は了承された。

## 2. 春季大会企画委員会・実行委員会報告

下平実行委員長より、第134回（春季）大会の参加者総数は314名であり、会計報告書は作成中であり、黒字になる模様であるとの中間報告があった。榎企画委員長より、企画委員を長澤紀美子会員から松田亮三会員へ変更したいことの提案があり、了承された。また、第134回（春季）大会の総会でのフルペーパー提出不提出に関する質問への対応を審議した結果、フルペーパー提出に問題のあった2つの分科会を企画した3つの専門部会に対して、代表幹事と春季大会企画委員長の連名で嚴重注意を行うこととした。大会報告における共同研究の取り扱いについては、企画委員会が編集委員会と調整のうえ、再提案することとなった。

## 3. 国際交流委員会報告

鈴木委員長より、LERA 第69回大会へ参加した山田和代会員、今井順会員の参加費を、「ESPAnet・LERA 報告者参加費助成制度」に従って国際交流費で負担してもらいたいとの提案があり、了承された。この大会には鈴木委員長も参加したが、年度末に予算に余裕がある場合には、鈴木委員長の参加費も認めることとした。なお、日韓協定の更新については、韓国社会政策学会が7月から新体制に入るため、新会長との間で更新の手続きをとることとし、先に韓国側からサインをもらい、それを日本側が受け取ってサインするという手順をとることとした。

#### 4. 重点事業の企画について

平岡幹事より、電子版英文ニューズレターの名称案が提案され、審議の結果、「JASPS Bulletin」とすることで、了承された。創刊号は平岡幹事が担当し、仕事量を把握してから、実施体制を考えることとした。メールアドレスの取得、メーリングリストの管理、発行先のリストアップについては、継続審議となった。創刊号の記事としては、遠藤代表幹事のあいさつと学会の自己紹介を掲載することが了承された。

#### 5. 電子版学会誌のJ-STAGE 移行に伴う登載作業の業者委託について

J-STAGE 利用説明会に参加した塚原事務局長より、移行後の登載作業でかなりの負担が生じるため、業者に委託する以外に対応する方法がないとの報告がされ、紙媒体で発行している出版社との連動性があるほうが望ましく、ミネルヴァ書房の同意も得ていることから、J-STAGE 移行に伴う登載作業は、ミネルヴァ書房に委託する方向が了承された。なお、具体的な契約は、作業の進捗を注視し、作業量が確定してから結ぶこととした。

なお、CiNii からJ-STAGEへの移行にあって、CiNii に登載してある既刊の学会誌のいくつかはPDF 化されていない欠号があることが判明した。これに関しては、原因を事務局で調査し、本学会の経費で欠号の補充を行う場合がありうることで、了承された。

#### 6. 日本学術協力財団の団体賛同会員への加入について

遠藤代表幹事より、この案件についての説明があり、審議の結果、本学会が団体賛同会員として加入することを了承し、総会議題とすることとした。年会費1 口5 万円である。年会費の主な用途は、財政支出削減対象として公的補助がなくなり、その刊行が危うくなった『学術の動向』の刊行継続である。

#### 7. 会員入会について

8 名の入会が承認された。

#### 8. 次回以降の幹事会の日程

第10 回幹事会は、10 月27 日（金）に愛知学院大学にて開催予定であることが了承された。

NL93 号

## 9. 2016-2018 年 期幹事会報告

### 第10 回幹事会議事録

日 時：2017 年 10 月27 日（金曜日）14：00～17：20

場 所：愛知学院大学・名城公園キャンパス・アガルスタワー3 階 多目的室1

出 席：阿部（誠）、居神、上原、榎、遠藤、鬼丸、垣田、熊沢、杉田、鈴木、玉井、塚原、戸室、久本、藤原、山縣

欠 席：阿部（彩）、埋橋、嵯峨、下平、相馬、平岡、宮本、渡邊

#### 1. 重点事業の実施について

遠藤代表幹事より、重点事業として、英文ニューズレター刊行事業の実施計画の提案があった。名称はJASPS Bulletin とし、電子版（PDF ファイル）で刊行すること、発行頻度は年2 回（9 月と3 月）とし、創刊号は2018 年3 月とすること、掲載記事は、本学会の活動や研究動向、大会のプログラム・英文報告要旨とし、関連した外国の学会や研究機関、研究者へ送付すること、編集体制については、本年度は平岡幹事を中心に担当し、次年度以降については、今年度の状況を見て、適切な体制を整えることとしたいとの提案で

あった。この提案は了承され、総会の議案とすることも了承された。

## 2. J-STAGE への登載作業の進捗状況と欠号問題について

塚原事務局長より、学会誌『社会政策』のJ-STAGE への登載準備は完了したとの報告があり、以前の学会誌（『社会政策学会年報』、『社会政策学会政策叢書』『社会政策学会学会誌』）のいくつかの号の登載漏れ（欠号）についての説明があった。その原因については、数年前に本学会がPDF ファイルを収録したCD を送付したものの、当時の登載媒体であるCINII の下請業者がそれを登載し忘れた、もしくは、本学会がCD を送付していなかった、などの可能性が考えられたが、本学会において送付を示した当時のメール記録が残っていないため、原因究明はできなかった。登載漏れの号については、複数の登載代行業者から見積もりをとり、適正な価格を提示した業者に登載を依頼し、本学会の費用で、できる限り登載漏れの号をなくしていくことで了承された。

## 3. 秋季大会企画委員会報告

熊沢委員長より、第135 回大会の自由論題とテーマ別分科会でのフルペーパーの提出状況（提出率は96.2%）、視覚障がい者への支援体制などについての報告があった。

## 4. 春季大会企画委員会報告

榎委員長より、共通論題は所得政策に関するテーマにしたいこと、座長を駒村康平会員、報告者を山田篤裕会員、田宮遊子会員、高須裕彦会員、コメンテーターを小越洋之助会員とし、コメンテーターをもう1 人追加したいことの提案があり、了承された。また、教育セッションは若手の研究を促進するようなテーマで継続していくことも了承された。自由論題とテーマ別分科会の共同研究者の取り扱いについても審議がなされ、共同研究の報告者は、会員の代表報告者および非会員でも可の共同報告者からなるものとし、複数で報告する場合には、プログラム上で登壇者（会員に限定）の名前に下線を引くことで了承された。

## 5. 2019 年度の大会について

遠藤代表幹事より、2018 年度については、周知のとおり春季大会は埼玉大学、秋季大会は9 月中に北海学園大学で開催される予定であることの報告があった。2019 年度の春季大会は、高知県立大学で開催することです承された。

#### 6. 学会誌編集委員会報告

居神委員長より、学会誌の発行に向けた進捗状況と投稿論文の採択状況についての報告があり、査読専門委員と編集委員の交代についての提案があった。欠員補充の5 名の査読委員と1 名の編集委員（宮地克典会員、すでに幹事会ML にて承認済）が了承された。

「研究ノート」「書評リプライ」については、投稿があった際に対応するという事となった。なお、編集委員・査読専門委員協議会（6 月4 日開催）における意見（無断引用・剽窃対策、学会誌のインパクトファクター調査）が紹介され、意見の交換がなされた。

#### 7. 学会賞選考委員会委員の選出について

遠藤代表幹事より、4 名の委員の補充の提案があり、木村保茂会員、李蓮花会員、吉田健三会員、中島醸会員が新たな委員として了承された。

#### 8. 国際交流委員会報告

鈴木委員長より、日韓社会政策交流の協定書のやりとりを電子メール（PDF ファイル）を用いて行うことの提案があり、了承された。来年の春季大会にLERA のジャンス・ベラス氏を招くことです承された（宿泊費は本学会負担）。討論者として、非会員の中窪裕也氏（一橋大学）に、本学会側の報告者として、柴田徹平会員に打診していただくことです承された。

#### 9. 選挙管理委員会報告

藤原委員長より、次期の幹事、会計監査の選挙結果が報告され、了承された。

#### 10. 広報委員会報告

垣田委員長より、本学会におけるfacebook 導入の可能性についての問題提起があった。



議論の結果、facebook では、コメント欄を閉鎖できないことから、コメントを通じた非難、中傷や炎上のリスクがあるため、現状では、facebook の導入は難しいとの結論を得た。

#### 11. 会員状況の分析について

遠藤代表幹事より、会員の年齢構成についての分析（山縣幹事による分析）の紹介があった。20 歳代と30 歳代の会員の数が少ないという結果が得られ、若手の入会を促す対策が議論された。大会にて、博士論文の発表会を行い、そこに出版社にも来てもらい、出版の機会を高める案が出され、実施する方向で了承された。

#### 12. 会員入会について

7 名の入会が了承された。

#### 13. 次々回以降の幹事会について

次々回の幹事会（第12 回）は、2018 年2 月4 日（日）に明治大学駿河台キャンパスにて14 時からの開催予定で、了承された。

### 第11 回幹事会議事録

日時：2017 年 10 月29 日（日曜日）12：10～13：30

場所：愛知学院大学・名城公園キャンパス・アガスタワー7 階 2725 会議室

出席：阿部（彩）、遠藤、垣田、塚原、久本、藤原、平岡

欠席：阿部（誠）、居神、上原、埋橋、榎、鬼丸、熊沢、嵯峨、下平、杉田、鈴木、相馬、玉井、戸室、宮本、渡邊、山縣

#### 1. 会員入会について

1 名の入会が了承された。

NL94 号

9. 2016-2018 年期幹事会報告

第12回幹事会 議事録

日 時：2018年2月4日（日） 14：00～17：10

場 所：明治大学駿河台キャンパス グローバルフロント3階403N演習室

出 席：阿部（彩）、阿部（誠）、埋橋、榎、遠藤、鬼丸、垣田、熊沢、嵯峨、杉田、鈴木、玉井、塚原、戸室、平岡、山縣、渡邊

欠 席：居神、上原、下平、久本、藤原、宮本、相馬

#### 1. 顧問の指名について

遠藤代表幹事より、会則第22条（1）に基づき、2018年～2020年の期の顧問として高田一夫、上井喜彦、森建資、阿部誠の4 会員を、2020 年～2022 年の期の顧問として玉井金五、遠藤公嗣の2 会員を指名したいとの提案があり、了承された。

#### 2. 次期幹事辞退と補充について

遠藤代表幹事より、次期幹事に当選した布川日佐史会員より、在外研究のために次期幹事を辞退したいという申し出があつて、これを認めたとの報告があり、了承された。なお補充には、次点であった首藤若菜会員が選挙管理委員会により当選と決定された。

#### 3. 春季大会企画委員会報告

榎委員長より、第136 回大会準備についての報告があつた。テーマ別分科会で4 本、自由論題で14 本の応募があり、すべて採択された。なお、テーマ別分科会の1 つにおいて、報告者がすべて海外からの招聘であるため、国際交流委員会との共催開催とするということで、了承された。博士論文報告会については、8 名の応募者があつた。このうち、学位取得見込み者については、取得を条件に参加を認めることとした。教育セッションについては、「博士論文を出版するまで」とし、共通論題のタイトルは「所得政策の現在」とし、追加のコメンテーターについては百瀬優会員とすることで、了承された。なお、第135回大会ではじめて行った聴覚障がい者への情報保障の対応（一応の費用上限は10 万円とする）については第136回大会でも行うこと、この後の大会でも、大会開催校の事情が許すとの条件のもとで行うことが、了承された。

#### 4. 秋季大会企画委員会報告

熊沢委員長より、137 回大会の準備状況及びスケジュールについての報告があった。共通論題のテーマは「半福祉・半就労を理論と就労から再検討する（仮）」とすること、座長は福原宏幸会員とし、報告者は吉永純、櫻井純理、津富宏、山村りつ、の各会員、コメンテーターは大友芳恵会員とすることで、了承された。なお、大会期間（9月15、16日）は札幌での宿の確保が困難なため、早めの予約をHP等で呼びかけることとした。また、開催校の会議室の数が不足しているため、専門部会については、会議室の確保が困難であったり、相部屋となったりする可能性があり、このことを、会議室希望を募るときに専門部会にあらかじめ通知することとした。

#### 5. 国際交流委員会報告

鈴木委員長より、国際交流分科会（LERA とのジョイント・セッション）の座長は鈴木委員長、コメンテーターはチャールズ・ウェザーズ会員、報告者はJanice Bellace氏と柴田徹平会員が務めることで、了承された。また、日韓の研究交流事業において、相馬副委員長を韓国社会政策学会大会に派遣することで、了承された。なお、相馬会員の訪韓の際に、日韓の社会政策学会で大会日程が被るケースがあるので、大会日程が決まりしだい、大会日程を相互に通告することの慣例化の希望を伝えてもらうこととした。

#### 6. 学会誌編集委員会報告

嵯峨副委員長より、投稿論文の投稿状況についての報告があった。

#### 7. 第135回大会実行委員会報告

玉井委員長より、大会の会計報告があり、了承された。

#### 8. 日本経営学会・社会政策学会共催公開シンポジウムについて

遠藤代表幹事より、本シンポジウムを2018年6月23日に明治大学リバティタワーにて両学会の共催で開催すること、その成果を本として出版すること、そして、これらについては遠藤代表幹事が担当することの提案があり、了承された。

#### 9. J-STAGEへの旧学会誌の追加掲載の進捗状況について

塚原事務局長より、以前の幹事会が行った旧学会誌のPDF化したもの（CDに収録）について、J-STAGEへの掲載漏れがあったので、その作業を業者（複数の業者から見積もりをとり、安い方に決定）に依頼し、掲載を終えたとの報告があった。なお、旧学会誌のうち、掲載漏れの巻（号）がいくつかあるので、これについての対応は次期幹事会に委ねることで、了承された。

#### 10. 日韓の研究交流の推進に関わる協定書について

遠藤代表幹事より、更新される本協定書に署名したとの報告と、今後は、問題がなければ、原則的に2年ごとの自動更新とすることの提案があり、了承された。

#### 11. 英文ニューズレター（JASPS Bulletin）の発行について

平岡幹事より、JASPS Bulletinの1号の記事（英文）は、学会紹介と第135大会の報告要旨とし、芳文社に見積もりをお願いしているので、問題なければ、そこをお願いしたいこと、送付先は、本学会HPのリンク集にある国際機関、さらには過去の大会に参加した外国人研究者をリストアップして決めたいとの提案があり、了承された。

#### 12. 人文社会科学系学協会における男女共同参画推進連絡会について

お茶の水女子大学の永瀬伸子教授より、平岡幹事経由で、「人文社会科学系学協会における男女共同参画推進連絡会（GEAHSS）：ギース」への本学会の加盟と本会員へのアンケート調査への協力の依頼があった。しかし、この組織の会則がない状況なので、組織の整備を待って再検討することとした。

#### 13. 『学術の動向』について

遠藤代表幹事より、昨秋から本学会が日本学術協力財団の賛助会員となった結果、代表幹事のところへ雑誌体の『学術の動向』毎月号1部が届いているが、『学術の動向』はJ-STAGEへ公開されているので、関心のある会員はそちらをご覧いただきたいとの報告があった。

#### 14. 社会政策関連学会協議会報告

阿部誠幹事より、社会政策関連学会協議会で開催するシンポジウム企画についての報告があった。2018年6月30日に明治大学にて、学会誌への論文の投稿を考えている大学院生への支援につながる企画を行うとのことであった。

#### 15. 社会保障国際論壇への後援について

阿部誠幹事より、社会保障国際論壇への本学会の関わり方についての問題提起があった。現在、この論壇へは、本学会の「日本・東アジア社会政策部会」が日本側の主催団体となっているが、中国側より、社会政策学会が主催団体となってもらいたいという要望が出されている。もし社会政策学会が日本側の主催団体となった場合に、本学会と国際論壇とのあるべき関係について検討すべきことがいくつかあり、この案件については、阿部誠幹事の下で、たたき台を作成してもらうこととした。

#### 16. 会員入会について

10名の入会申し込みを承認し、1名の入会申し込みを承認しなかった。

#### 17. 次回の幹事会の日程

次回の幹事会（第13回）は、2018年4月21日（土）の午後に明治大学駿河台キャンパスにて開催予定で了承された。

NL95号

## 5. 2016-2018 年 期 幹 事 会 報 告

### 第13回幹事会 議事録

日時：2018年 4月 21日（土曜日）14：00～16：00

場所：明治大学駿河台キャンパス研究棟4階第2会議室

出席：阿部（誠）、居神、埋橋、榎、遠藤、鬼丸、垣田、熊沢、杉田、鈴木、玉井、塚原、戸室、久本、藤原、山縣、渡邊

欠席：阿部（彩）、上原、嵯峨、下平、相馬、平岡、宮本

#### 1. 会則第24 条の改正について

遠藤代表幹事より、顧問に任命された会員で、その任期の開始前である会員は、幹事および会計監査の被選挙権を有しないことを旨とする改正案の提案があり、了承された。総会の審議事項とすることも了承された。また、6名の会員を顧問に指名し、前回幹事会で指名の6名と合わせて12名の顧問の任命を総会で議決することも了承された。

#### 2. 大会実行委員会規程の新設について

遠藤代表幹事より、規程の新設の提案があり、了承された。総会の審議事項とすることも了承された。

#### 3. 会員資格喪失の決議について

遠藤代表幹事より、2017年度の退会者リストの提示があり、任意退会者以外の会員資格喪失が決議された。

#### 4. 名誉会員の推挙と会則第10条の運用の幹事会申し合わせについて

遠藤代表幹事より、現行の名誉会員の推挙において明確な基準がないなどの問題があるため、会員歴30年以上で、75歳以上、前年度までの会費が納入済みの会員をすべて名誉会員に推挙するという幹事会申し合わせの提案があった。審議の結果、時間をかけて議論すべきという意見が出され、次期幹事会にて検討することとなった。

#### 5. 春季大会企画委員会報告

榎委員長より、136回大会の準備状況および今後の予定に関する報告があった。博士論文報告会については、前回の幹事会報告時に比べ、報告者が1名増え、辞退者が1名あったこと、学位取得見込者3名の学位取得を確認したこと、5月26日に午後2コマを連続して使って開催することが報告された。なお、参加される出版社には参加費を求めず、懇親会費については、出席の場合に負担してもらうこととした。

#### 6. 秋季大会企画委員会報告

熊沢委員長より、次期委員会では山村りつ会員に代えて新たに佐々木貴雄会員への委嘱を次期幹事会に依頼すること、そのほか、関東部会選出委員は森周子会員から山村りつ会員へ、東北部会選出委員は戸室健作会員から渡部あさみ会員へそれぞれ交代する方針であるという報告があった。第137回大会に関しては、書評分科会で取り上げる書籍9冊が決定したこと、大会中の昼休みの会議室が不足しているため、専門部会においては、生協食堂のテーブル確保で対応せざるをえないこと、一時預かり保育の施設は確保したことの報告があった。

#### 7. 学会誌編集委員会報告

居神委員長より、学会誌の刊行に向けた進捗状況、書評の依頼状況、投稿状況についての報告があった。また、ディスカッション・ペーパーが投稿された場合の扱いについて



は、多様な考え方があるため、引き続き、検討していくこととなった。

#### 8. 電子版学会誌のJ-STAGE への移行完了について

塚原事務局長より、電子版の現学会誌と旧学会誌のJ-STAGEへの移行完了し、すでにHPでの告知がなされているという報告があった。なお、旧学会誌のうちの未登載・未公開分については、次期幹事会にて登載・公開作業を進めていくことになった。

#### 9. JASPS Bulletin第1号の刊行について

平岡幹事より、JASPS Bulletin第1号が刊行され、すでにHPでの告知がなされているという報告があり、会員以外の関係者への周知依頼があった（代表幹事代読）。

#### 10. 社会保障国際論壇と社会政策学会との関係について

阿部誠幹事より、社会保障国際論壇の日本の主催団体は、社会政策学会とすること、社会保障国際論壇の企画等は、日本・アジア社会政策部会が担当するが、幹事会への報告を行うこと、社会保障国際論壇の日本開催の費用は、日本・アジア社会政策部会の予算から支出可能とすることなどの提案があった。社会保障国際論壇を日本で開催する場合の費用が多額となるため、主催団体となった場合の社会政策学会の費用負担の問題などもあり、次期幹事会で検討することとなった。

#### 11. 日本経営学会・社会政策学会共催シンポジウムについて

日本経営学会の幹事でもある山縣幹事より、6月23日に明治大学リバティタワーにて開催が日本経営学会として正式に決定したとの報告があった。

#### 12. 社会政策関連学会協議会報告

藤原幹事より、6月30日に明治大学リバティタワーにて、若手研究者支援フォーラム「初めての査読論文—経験者が語る投稿から掲載まで」を開催することの報告および周知依頼があった。

### 13. 国際交流委員会報告

鈴木委員長より、136 回大会における国際交流分科会でコメントをお願いしていた非会員の名前の大会プログラム記載を忘れたこと、この件での事後対応に不手際があったことの報告および謝罪があった。この件については、遠藤代表幹事が学会としての謝罪文持参で先方研究室を訪問して謝罪し、先方と学会との関係も修復したとの報告があった。

### 14. 会員入会について

14名の入会を承認した。

### 15. 次回以降の幹事会の日程

次回の幹事会（第14 回）は、2018 年5 月25 日（金）の14時から埼玉大学経済学部B棟302室にて開催定で了承された。

NL96 号

## 1 3. 2016-2018 年 期 幹 事 会 報 告

### 【第14回幹事会 議事録】

日時：2018年 5月 25日（金曜日）14：00～17：00

場所：埼玉大学経済学部A 棟第2会議室

出席：阿部（彩）、阿部（誠）、居神、埋橋、榎、遠藤、鬼丸、垣田、熊沢、鈴木、塚原、戸室、藤原、山縣、森川美絵(学会賞選考委員、委員長代理)

欠席：上原、嵯峨、下平、杉田、相馬、玉井、久本、平岡、宮本、渡邊

#### 1. 2017年度活動報告（総会資料）について

遠藤代表幹事より、報告があり、了承された。

#### 2. 2017年度決算報告書（案）および監査報告書（総会資料）について

遠藤代表幹事より、報告があり、了承された。総会では、武川会計監査が所用で欠席さ

れるため、遠藤代表幹事が監査報告を代読することも了承された。

### 3. 総会議題について

遠藤代表幹事より、提案があり、了承された。

### 4. 会員の住所不明の場合の取り扱いについて

これは、学会本部の業務であるが、遠藤代表幹事より、明文化した原案が示され、了承された。原案は、ニュースレターおよびホームページを通じて、会員に周知することも了承された。

### 5. 会員の会費滞納の場合の取り扱いについて

これは、学会本部の業務であるが、遠藤代表幹事より、明文化した原案が示され、一部修正することで、了承された。修正案は、ニュースレターおよびホームページを通じて、会員に周知することも了承された。

### 6. 会員名簿の送付の取り扱いについて

これは、学会本部の業務であるが、遠藤代表幹事より、明文化した原案が示され、了承された。原案は、ニュースレターおよびホームページを通じて、会員に周知することも了承された。

### 7. 春季大会企画委員会報告

榎委員長より、136回大会の準備状況についての報告があった。テーマ別分科会の報告の1つで、フルペーパーの当日配布のないことが予想されるケースが生じたため、コーディネーターに説明文の提出を求めることとした。また、フルペーパー未提出問題の今後の対処については、フルペーパーの期限内未提出は大会発表を取り消すとの案も議論されたが、フルペーパーのアップロード開始からのこの問題の長期継続を踏まえて、抜本的対処方策を打ち出す時期に来ていることが確認された。抜本的対処方策の決定については、フルペーパーのアップロード業務の改革との関係を考慮しつつ、次期幹事会へ委ねることと

した。共同研究の報告において、共同研究者の順番が応募すなわち大会プログラムとフルペーパーで異なる場合が今回あったが、今後は、応募とフルペーパーで共同研究者の順番は同一とすること、その中の発表者は順番の先頭でなくてもよいとすることで、了承された。大会中の託児料の負担については、（１）今（第136回）大会では、それを含めた大会の総費用が総収入を超えた赤字が生じた場合には、本学会がそれを補填すること、

（２）次回（第137回）大会では、託児料の負担の上限を10万円として、実行委員会でなく、本学会が負担すること、（３）次々回以降の対応については、使いやすい託児のあり方への根本的な改革も含めて、次期幹事会に委ねることで、了承された。

#### 8. 学会賞選考委員会報告

森川選考委員（選考委員長代理）より、選考結果の報告があり、了承された。受賞者の1名が奨励賞の2度目の受賞となることについて議論があったが、選考委員会の決定を尊重することで了承された。

#### 9. 秋季大会企画委員会報告

熊沢委員長より、第137回大会の準備状況についての報告があった。自由論題報告の申請はすべて採択されたが、テーマ別分科会報告の申請はなかったため、日程の問題等、この原因についての意見交換がなされた。

#### 10. 広報委員会報告

垣田委員長より、今期の活動報告があった。検討すべき課題として、大会フルペーパーのアップロードを担当する委員の作業負担が過重という問題提起があり、議論の結果

（１）来年度から大会の企画委員会と国際交流委員会が所管するフルペーパーの提出期限を統一すること、（２）次期幹事会の下で、次期広報委員会がこの業務の外注化に向けた検討を行っていくことで、了承された。

#### 11. 国際交流委員会報告

埋橋次期代表幹事より、同次期代表幹事と沈潔会員が第14回社会政策国際論壇(上海市

で開催)へ招待されたことの報告があり、両者の派遣と、両者の交通費のみの国際交流委員会費目からの負担(宿泊費と食費は招待者負担)が了承された。

鈴木委員長より、第136回大会の国際交流分科会にて、(1)報告予定であったJanice R. Bellace氏が急病により、来日が不可能になったこと、(2)同氏から謝罪があり、本学会と友好関係は継続したいこと、(3)これにともなう分科会の代替措置については、同分科会の発表者などと相談の上、鈴木委員長に一任することで、了承された。

## 12. その他

鬼丸幹事より、桜林誠名誉会員が4月30日に逝去されたとの情報提供があり、会員が亡くなられた場合の本学会による情報把握の問題提起がなされた。遠藤代表幹事より、2020年度の春季大会は、首都大学東京で開催するとの報告があり、了承された。塚原事務局長より、5月16日にワールドプランニング社にて、今期と次期における代表幹事間、事務局長間それぞれの事務の引継ぎがなされたとの報告があった。

## 13. 会員入会について

11名の入会を承認した。

